



【目指す学校像】

誰もが安心して学べる魅力ある学校

安全・安心な風土を醸成し、一人一人の子供が安心して自分らしく過ごせる居場所を学校に見出し、予測困難な時代を生きぬくために必要となる資質・能力を身に付けていけるようにします。

自立した学習者の育成

本校が実現を目指す学校教育目標の先に、自らの判断と意思で、生涯にわたって能動的に学び続ける姿を見据え、「自立した学習者」を育てます。

【学校教育目標】

運動大好き

自分・友達大好き

勉強大好き

本校の学校教育目標は、「運動大好き」(体)「自分・友達大好き」(徳)「勉強大好き」(知)を踏襲します。「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を身に付けた子供を、本校職員、家庭・地域との連携・協働のもとに育てます。

【目指す子供像】

- 〈運動大好き〉 健康でたくましく生きぬく子供
〈自分・友達大好き〉 自分のよさを知り友達とかかわり合える子供
〈勉強大好き〉 課題をもち自ら学び続ける子供

私たちの基本姿勢です。教職員一丸となって、一人一人の子供のよさや可能性を最大限に引き出し、それぞれの自己実現を支えます。

【目指す教師像】

一人一人の子供を大切に、温かな思いで支え続ける教師

学習指導要領では、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱で整理しています。本校でも、学校として育成を目指す資質・能力をこの3つの柱から左の3つに焦点化して設定しました。

【教育の重点】

学校として育成を目指す資質・能力

- 〈知識及び技能〉 ○身に付けた知識や技能を学習や生活に生かすことができる。
〈思考力、判断力、表現力等〉 ○根拠や理由を明確にして、自分の考えを表現することができる。
〈学びに向かう力、人間性等〉 ○自ら学習を調整しながら、粘り強く取り組もうとする。

学びに向かう力、人間性等については、「粘り強い取り組みを行おうとする側面」と「自らの学習を調整しようとする側面」の2つの側面から評価します。

経営の方針

- 1 一人一人のよさや可能性が生かされる安全・安心な風土を醸成する。
2 関わりを通して多様性を受け入れ、互いに高め合う関係性を構築する。
3 社会との連携・協働による組織的な学校教育を推進する。

人と関わる力は、人との関わりを通して培われていくものであり、多くの子供が集う「学校」に期待されている役割でもあります。方針の2では、共感的な人間関係の育成を重視し、共感性や協調性、社交性、寛容、受容…といった非認知能力を育成します。

経営の重点

- 1 多様性を重視した一人一人の子供を主語にする教育活動の推進
2 生徒指導の実践上の視点を生かした学習指導の充実
3 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の観点からの授業改善

指導の個別化と学習の個性化の両面から個別最適な学びを進めるとともに、多様な他者の考えに触れる良さや楽しさなどの実感の伴った協働的な学びを一体的に充実させ、多様な特性をもつ子供さん一人一人のよさや可能性を最大限引き出し、自己実現を支えます。

主な具体的取組

《 学習指導部 》

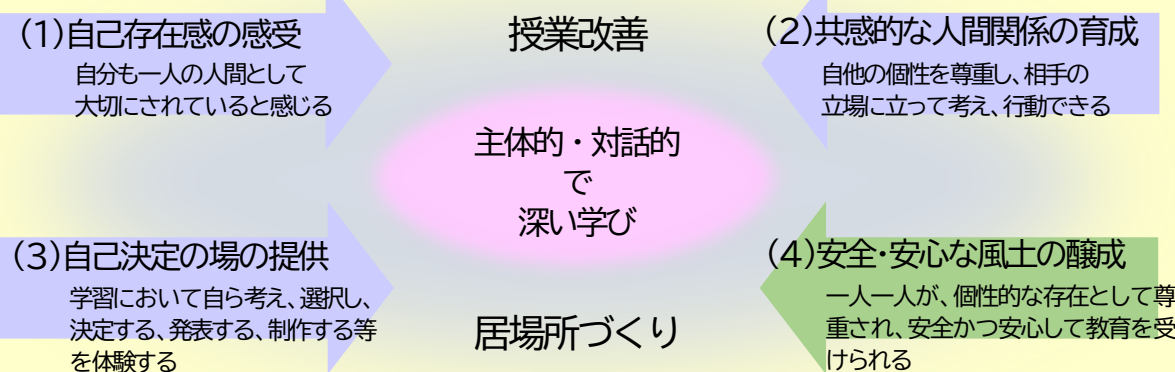
- 主体的・対話的で深い学びの実装
○子供による自主的・実践的な活動の充実
○地域資源や人材を活用した教育活動の展開

《 生徒指導部 》

- 共感的な人間関係の育成の重視
○教育的二ズを踏まえた指導・支援の充実
○安全・安心な生活に向けた安全指導の徹底

本校では、添付した「学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめの未然防止、早期発見、いじめに対する措置(早期対応・組織的対応)に取り組めます。「早期発見の在り方」では、見えにくいいじめを察知するための具体的な対応として、「心のアンケート」や「子供を語る会」等とおして一人一人の児童理解を深め、適切な対応がとれるよう努めます。また、5月と10月には、保護者の皆様によるいじめアンケートも実施予定です。

学習指導と生徒指導の一体化



生徒指導は、子供が、社会の中で自分らしく生きることができる存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動です。教師は、子供自身が自発的・主体的に成長や発達する過程を支えます。また、子供一人一人に対する理解の深化を図った上で、「生徒指導の実践上の視点」を生かした授業づくりに努めます。

社会に開かれた教育課程の実現

近年、急激な社会の変化に伴い、学校と地域を取り巻く課題はますます複雑化、多様化しています。そうした状況の中、子供や学校、地域が抱える課題の解決や、未来を担う子供たちの豊かな成長のため、「社会全体での教育の実現」を目指し、地域との連携・協働を進めます。